

お客さまや社会と共に成長する、真のグローバル企業であるために。  
経営の透明性と効率性をさらに追求します。

## 事業ビジョン

FUJITSU(富士通グループ)の存在意義は、先進技術が支える品質の高い製品とサービスにより、お客さまの課題を解決し社会の発展に貢献することであるとと考えています。

FUJITSUは、お客さま、人材、品質とともに、環境を重視しています。これらすべてを同時に追求することでのみ、FUJITSUの成長が可能となり、お客さま、従業員、株主の皆さま、お取引先・事業パートナーの皆さま、社会の皆さまという、すべてのステークホルダーの利益に結びつくと考えています。FUJITSUは、ステークホルダーに対し説明責任を果たしながら、より高い価値の提供を追求することで、持続的な発展をめざします。

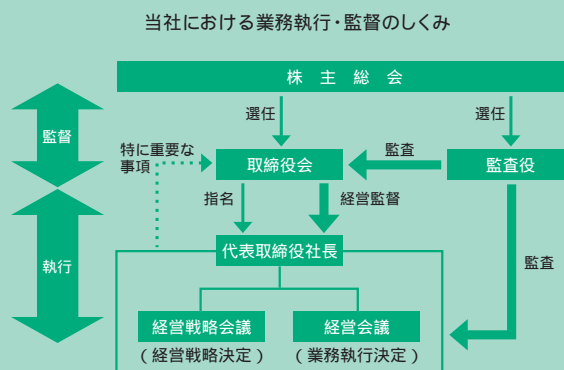
## 企業統治

### コーポレート・ガバナンスに関する基本的な考え方

FUJITSUは、株主をはじめとするステークホルダーの方々に対し、経営の透明性並びに効率性を確保することをコーポレート・ガバナンスの基本と考えています。そのために、社外役員を積極的に任用します。さらに経営の監督機能と執行機能を分離し、2つの機能間で緊張感を高めることにより、経営の透明性と効率性を向上させていきます。

### 会社の経営上の意思決定、執行および監督に関わる経営管理組織

監督機関：取締役会は、執行機関である経営戦略会議や経営会議などの執行機能の経営監督を行います。  
執行機関：経営戦略会議では、経営に関する基本方針、戦略について討議し決定し、経営会議では経営執行に関する重要事項について決定します。なお、経営戦略会議および経営会議に付議された事項のうち特に重要な事項については、取締役会にて決定します。



### リスク管理

リスク管理委員会：企業活動におけるさまざまなリスク状況の把握とその対処方法の検討を行います。重要な事項は執行側の経営会議や監督側の取締役会に報告し対応を協議しています。これらにより、全社グループベースでの危機管理体制の強化をはかっています。